まちなかカイゼン　before & after

近年、ライフスタイルの多様化や人口構造の変化により、地方都市部においても地域コミュニティの機能が低下している地域の結びつきが安全・安心の確保に重要な役割を果たします。町では、第５次長泉町総合計画において『みんなでつくる 協力して、見えにくい標識、暗い路地、まちの危険などを細かく点検し、地域課題の解決策を検討する「まちなかカイゼンbefore & after（生活空間満足度向上事業）」を平成28年度から実施しています。今回は、これまでの取り組みの事例をご紹介します。

これまでの取り組み

住民×町の取り組み

▲無分別で回収できなかったごみがある

▲住民の声掛けや看板の新調により無分別ごみがなくなった

町が対応

▲「スクールゾーン」がほとんど見えなくなっている

▲「スクールゾーン」を引き直した

▲外側線がなくなっている

▲外側線を引き直した

地域で解決

▲樹木により、『止まれ』の標識が見えにくくなっている

▲樹木を剪定し、『止まれ』の標識が見えやすくなった

まち歩きで危険個所を細かく点検

実際に歩いて初めて気づくことも

通学路の見通しが気になるね

ワークショップで

危険箇所のマップを作ろう

解決策を検討

どうすれば改善されるか

これまでの実施区

Vol.1　納米里区（平成28年度）
Vol.2　中土狩・新屋町上区（平成29年度）
Vol.3　竹原区（平成30年度）
Vol.4　南一色区（令和元年度）
Vol.5　薄原上・薄原下区（令和３年度）
Vol.6　原分区（令和４年度）
Vol.7　本宿区（令和５年度）
Vol.8　西区（令和６年度）

※令和２年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

実施区　区長の声

事業から３年経過しましたが、事業の成果が多く感じられます。例えば、区内の危険箇所やごみのポイ捨てなどを啓発する回覧を作成したところ、事故やポイ捨ての抑止につながっています。

また、まち歩き以降、原分区民の間では“まちを良くしよう”という意識が高まっていると感じます。ルールを守ったり、助け合ったりする姿勢も多く見られ、“誰か”ではなく“一人ひとり”が気づき、みんなで解決することで、安心・安全なまちになっていくと考えます。

令和４年度原分区長
杉山　若代さん

▲危険な横断者が多い道に注意喚起看板を設置
（沼津三島線　原分区内）

長泉町は特にコンパクトな町であるからこそ、住民と行政の距離が近く、地域の声が届きやすく、協働のまちづくりが深めるためにもまちなかカイゼンbefore & after（生活空間満足度向上事業）を実施してみませんか？　※詳細はお問いできるバランスに優れた“ちょうどいいまち”です。地域の住民同士が顔の見える「人と人との関係づくり」、「地域の絆」を合わせください。

☎行政課　989-5500